MITSUBISHI ELECTRIC

三菱IHクッキングヒーター（家庭用）

形名 CS-T34BFR

据付説明書

販売店・据付業者様用

据付けされる方へのお願い

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。
  据付けの前に、この説明書を必ずお読みください。
- ガス事業者への連絡をせずにガス工作物
  （ガス配管、ガスメーター、ガス栓等）を無断に撤去することは法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。
- レンジフード（換気扇）を連動させる場合は、必ず指定の赤外線式レンジフード連動システム対応のレンジフードを取り付けてください。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。
- 据付け完了後に試運転を行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。

1 据付け前に

1 - 1. 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

禁　止	接触禁止	アース線接続
分解禁止	指示に従う	

⚠警告

絶対に分解・改造は行わない
分解禁止
発火・異常動作してけがをするおそれあり
※トッププレートを取り外さない
※電源コードの直付けはしない

据付けは、この「据付説明書」に従って、確実に行う
指示に従う
据付けに不備があると、漏電・火災の原因

トッププレートに衝撃を加えない
禁止
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因
※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしない

据付けは、販売店または専門の工事店が実施する
指示に従う
間違った据付けは、事故の原因
お客様ご自身での据付けは、事故の原因

200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する
指示に従う
この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれあり

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が施工し、必ず専用回線を使用する
指示に従う
接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因

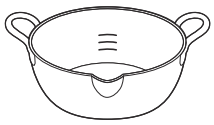
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士がD種接地工事を行う
アース線接続
漏電時に感電のおそれあり

⚠注意

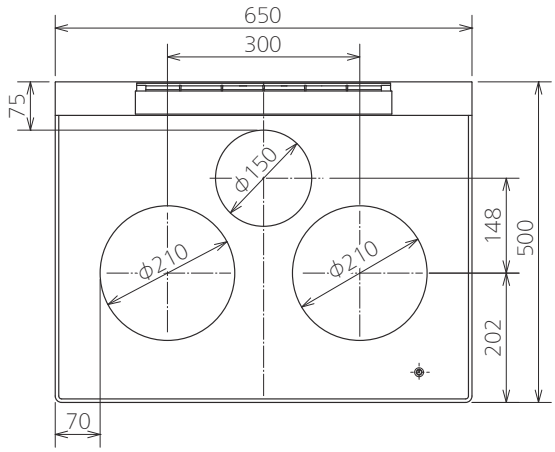
試運転中は、トッププレートなど高温部に触れない
接触禁止
やけどのおそれあり

ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う
指示に従う
熱硬化性樹脂化粧板（JIS K 6903）または
これと同等以上のもの
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因
※ニス引きのものは変色するため、使わない

1 - 2. 同梱品を確認する

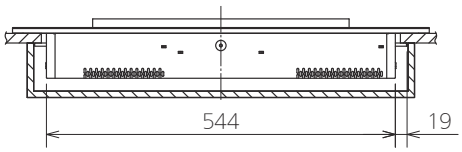
① 当社専用天ぷら鍋	② 説明書
1個 	取扱説明書 … 1部 据付説明書 … 本書 保証書 …… 1部

2 製品外形寸法図　単位：mm

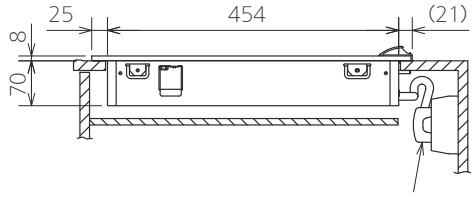


上面図

正面図

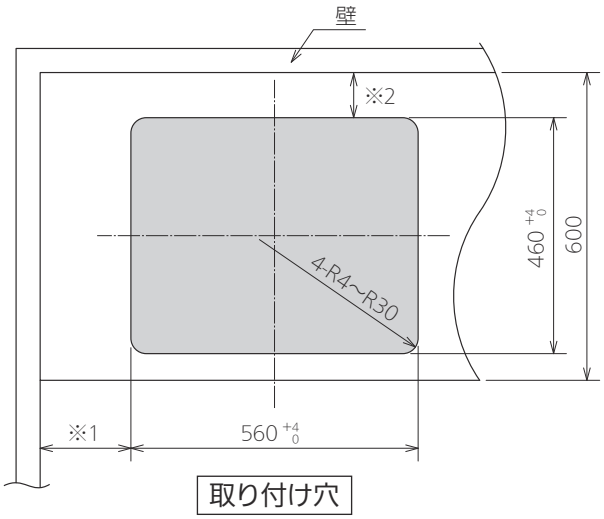


側面図

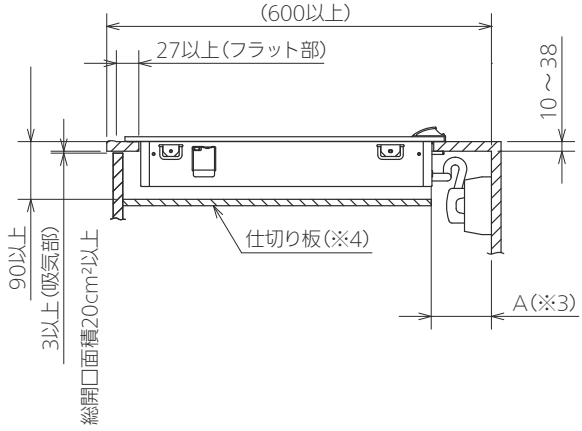


(コード長 600)

システムキッチンとの関係寸法図



取り付け穴



※1

可燃性壁	83mm以上
不燃性壁	53mm以上

※2

可燃性壁	46mm以上
不燃性壁	21mm以上

※1 ※2：取り付け穴と壁の距離については、左記図中参照ください。

※3：パナソニック製の露出コンセント(WK36301B)を使う場合は、A寸法が80mm以上必要です。
また、本体据付けには、A寸法が30mm以上必要です。

※4：仕切り板は着脱式にしてください。
(固定金具取り付け時に取り外すため)

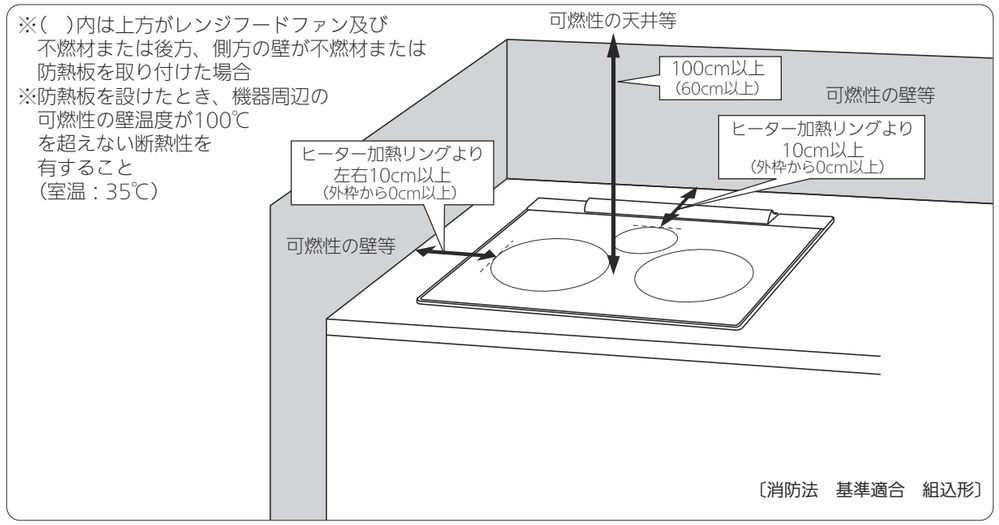
3 据付け場所の選定

本IHクッキングヒーターは、日本電機工業会自主基準で制定された『特定の安全性を備えた調理油過熱防止装置付電磁誘導加熱式調理器の設置に関する自主基準(HD-134)』において『特定安全IH調理器』として適合した製品です。

火災予防条例、電気設備技術基準に従って設置してください。

壁・天井等からの距離

■ 周囲が可燃性の壁の場合(防火構造壁以外)

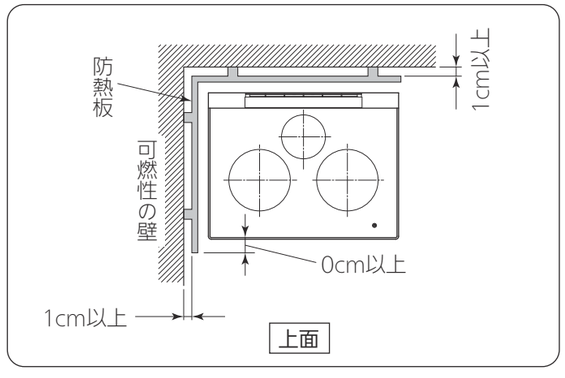


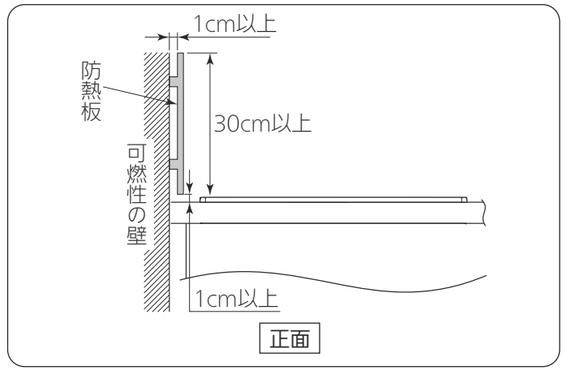
お願い

製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金具(メタルラスなど)とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。(電気設備技術基準で危害なきよう設置することが定められています)

■可燃性の壁から、上記の距離を離して設置できない場合

●防熱板を取り付ける





4 電気工事

⚠警告

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が施工し、必ず専用回線を使用する

指示に従う 接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因

専用回路と漏電しゃ断器の設置

■電源にブレーカー付きの専用回路を設置する

- 200V・30A以上の専用回路を設置する
- 電源は必ず「**単相3線式 200V**」を使用する
- 三相200V(動力電源)には絶対に接続しないでください。(故障の原因)
- 屋内配線用電線は、線径φ2.6mm以上のものを使ってください。

■漏電しゃ断器を必ず設置する

【推奨漏電しゃ断器】 定格電流30A、感度電流15mA
パナソニック製:BJS3022N(HBモジュール)
BSHE23022(コンパクトタイプ)

コンセントの設置

■電源コンセント …… 単相定格250V・30A(一極接地用)
※推奨コンセント パナソニック製:WK36301B(露出型)
WK3630(露出型)
WF3630B(埋込型)

⚠警告

絶対に分解・改造は行わない

分解禁止

発火・異常動作してけがをするおそれあり
※トッププレートを取り外さない
※電源コードの直付けはしない

※直付けは製品の改造となり、故障や損傷の場合、保証期間内でも有料修理になります。

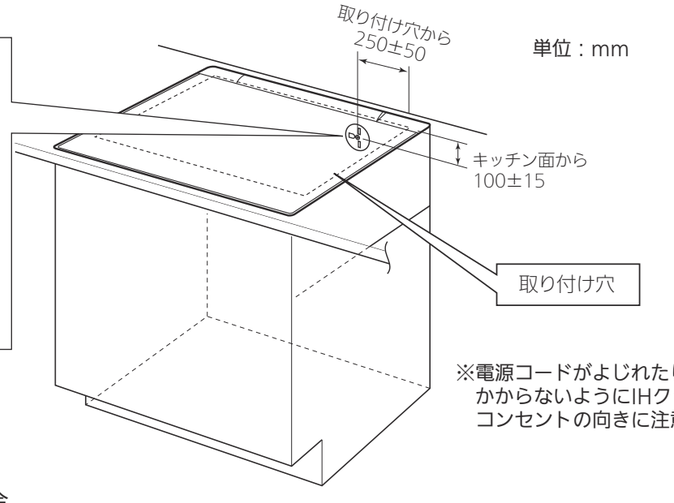
コンセント差し込み形状

■推奨コンセントの位置(例)

システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

【コンセントの向き】

※コンセントの向きに注意してください。
コードがキャビネットにあたります。



※電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。

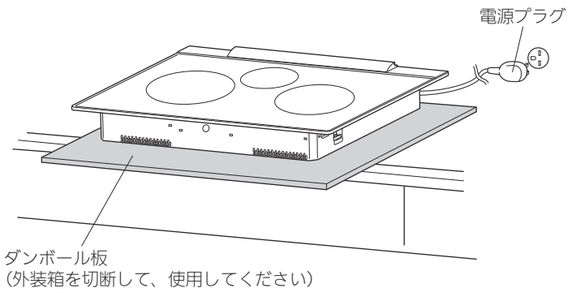
※システムキッチンに設置する場合
システムキッチンに設置する場合は、システムキッチンに添付の取付・設置説明書に従い、十分な取付強度を確認の上、コンセントを取り付けてください。

5 据付けする

本体の据付け　（ブレーカーを“切”にして、据付けを行ってください）

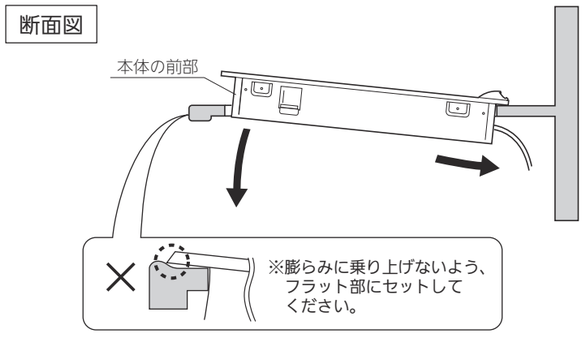
1 電源プラグを差し込む

● ワークトップに傷を付けないように
外装箱を切断して、使用してください。

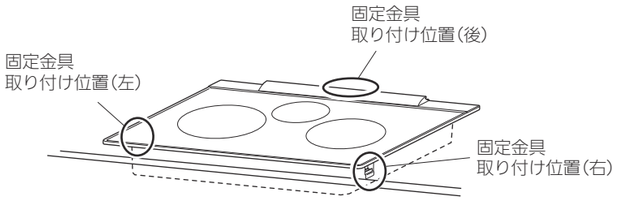


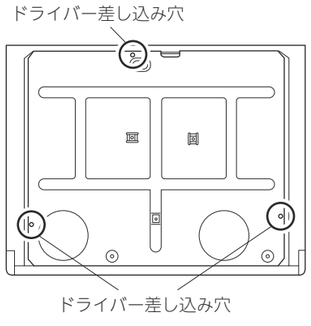
2 ワークトップに本体の後面を挿入し全体をはめ込む

● 本体をワークトップに当てない
● フレーム下面とワークトップのすき間が、
前後左右で均一であることを確認する
（本体挿入時に、本体の底面・側面とキャビネットの
間に電源コードが挟まると、本体が浮いて
すき間がバラつきます。）



3 ワークトップに固定金具を固定する（左右２箇所・後中央１箇所）

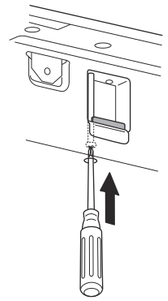




本体底面図

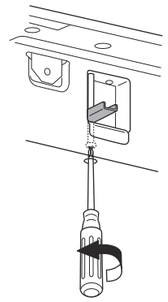
①本体底面のドライバー差し込み穴より、
本体内にあるネジの十字ミゾに
ドライバーを差し込む

①



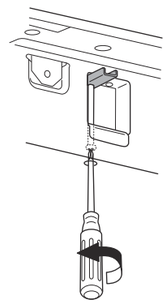
②ドライバーを反時計回り（緩める方向）に
回してください。
※固定金具が、本体から出てきます。

②



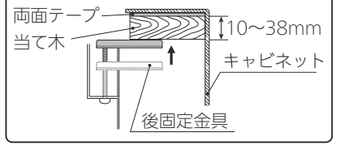
③さらにドライバーを反時計回り
（緩める方向）に回すと、固定金具が上昇し、
ワークトップに固定できます。
※締めつけトルクは、0.6 ～ 0.7Nm
締めつけ過ぎると、固定金具が破損します。

③



④同様に、残りの固定金具も固定してください。

※ワークトップの厚みが薄くて、
後固定金具が固定できない場合は、
図のように当て木を添えてください。



4 据付け状態を確認する

● 据付けが完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら
必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません）

据付け状態

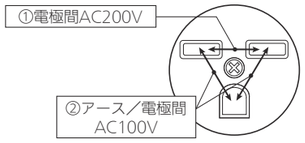
確　認　項　目		チェック
外　観	トッププレート部のフレームに浮きがないか？	
電　気　工　事	アース接地工事（D種）が行われているか？	
	漏電ブレーカーが設置されているか？	

6 試運転

6 - 1. 試運転手順

試運転確認

■お客様立ち会いで試運転を行ってください。
据付け完了後、次の手順で内容を確認し、チェック欄に〇印をしてください。

確　認　項　目			チェック
1 正しく単相200V配線がされているか？ (1)ブレーカーを「入」にする (2)テスターで測定する　①電極間AC200V ②アース／電極間AC100V (3)測定が終わったら、一度ブレーカーを「切」にする			
2 ブレーカーを「入」にする			
3 をピッと鳴るまで押し、電源を入れる	➡	がオレンジ色に点灯する が白色に点灯する	
4 各ヒーターの動作確認をする お湯を沸かして確認する (右IHヒーターの場合で説明します) を押す	➡	火力ランプ１～９が青色に点灯する　※1 ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
または のどちらかを押す	➡	火力ランプ１～４が赤色に点灯、 火力ランプ５～９が青色に点灯し、 液晶に４が表示される　※2 ● ● ● ● ● ● ● ● ●　4	
お湯が沸くのを確認したら を押し、 をピーッと鳴るまで押して、電源を切る			

※1：中央ヒーターは、火力ランプ１～５が青色に点灯します。
※2：中央ヒーターは、火力ランプ１～２が赤色に点灯、３～５が青色に点灯し、液晶には何も表示されません。

連動確認

■レンジフード(換気扇)との連動を確認してください。
IHクッキングヒーターの操作にあわせて、レンジフードが運転します。

確　認　項　目			チェック
1 レンジフードの動作確認をする 上記「試運転確認」の手順3 ～ 4をする	➡	火力ランプ１～９が青色に点灯する ● ● ● ● ● ● ● ● ● レンジフードが「中」で運転する	
2 レンジフードの停止確認をする を押す	➡	火力ランプが全て消灯する レンジフードが一定時間作動した後、停止する (レンジフード設定による)	
確認が終わったら をピーッと鳴るまで押して、電源を切る			

●レンジフード連動の設定については、取扱説明書の24ページをご覧ください。
●同梱品一式は、必ずお客様にお渡しください。
●据付け時に電気工事が完了していない場合は、引渡し時に必ず試運転を行ってください。

据付完了 確認者印	

6 - 2. 総消費電力の切り替え手順

総消費電力(5500W、4800W、4000W)を切り替えます。(工場出荷時は5500Wに設定されています)

1 をピッと鳴るまで押し、電源を入れる	➡	がオレンジ色に点灯する が白色に点灯する
2 を約２秒長押しして、機能設定モードにし さらに を３回押す	➡	機能設定モードのランプが → → → の順に 緑色に点灯し、中央IHの がオレンジ色に点灯する (総消費電力の切り替え)の点灯時は、 右液晶表示部に P cw 、左液晶表示部に 55 が表示される
3 または のどちらかを押して設定を選ぶ	➡	「55」→「48」→「40」→「55」 「55」→「40」→「48」→「55」
4 を押す	➡	設定完了　※ を押さないと、設定は変更されません。
設定が終わったら をピーッと鳴るまで押して、電源を切る		

HEMS通信をする場合は、別売の無線LANアダプターユニットが必要(有料)となります。
据付け・接続は、お買い上げの販売店にご相談ください。

別売部品	
名称	無線 LAN アダプターユニット
形名	HM-02A-CS
形名コード	46Y002

6 - 3. お客様への説明

●別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
●この据付説明書は、据付け後お客様にお渡しください。なお(同梱の)取扱説明書および保証書も必ずお客様にお渡しください。
●物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー、ゼネコン)や管理人などに説明してください。

据付年月日	年　月　日
据付店名	
	TEL

お客様へ……おぼえのために、据付年月日、据付店名を記入されると便利です。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295　埼玉県深谷市小前田1728－1

ZT790Z914H01